

(様式1)

令和元年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立第一寺島小学校
校長名	近藤 幸弘

1 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から (平均正答率は、別表参照)

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・どの教科でも全国平均正答率を超えている。・算数科の学力向上 (学年経年変化)・社会科及び理科での全国平均正答率を超えている。	<ul style="list-style-type: none">・D・E層の数及び傾向、D・E層の児童は複数教科の正答率が低い。・国語科の学力低下 (学年経年変化で特定の項目の低下ではない)・観察・実験の技能の未習得 (昨年度同様で対象全学年)・学力の項目傾向と共に学年傾向が顕著に表れている。・

(2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・全体的 (自己認識、社会性、学級環境、生活・学習環境) に肯定値が高い。・どの学年も学級環境の肯定値が高い。特に規範意識や学級に絆が高い。・学習習慣は平均以上だが、生活習慣はそれ以上である。・どの学年も「ささえ」(家族・友だち・先生) を感じている。	<ul style="list-style-type: none">・学力が低い児童は肯定値も低い傾向にある。・充実感と向上心について、低・中学年ではまだ低い傾向にある。・一概に課題とは言えないが、学級・学年の特色がある。特に社会性の項目について低い部分がある。

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・楽しく通学している95%を超えている。・授業中、落ち着いた態度で学習している90%程度である。・基本的な生活・学習習慣の定着90%を超えている。(前年度よりも10%程度上がった)・学習内容が身につく授業は90%を超えている。・昨年度は子どもの学習状況を把握しようとする保護者が90%を超えてきた。・家庭で学校の出来事やニュースなどの話題の会話が90%を超えてきた。	<ul style="list-style-type: none">・家庭学習の取組が80%程度で20%の児童が取り組めていない現状がある。・家庭での読書活動について55%に低迷している。・D・E層の児童のほとんどが1つの教科ではなく、全般において学力が低迷している。・

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) D・E層の児童への取組の強化

- 学力調査の分析
 - ・未習得内容の分析及び改善
 - ・データ管理（来年度以降の取組への資料）
- パワーアップタイム
 - ・放課後等の時間確保
 - ・家庭学習との連携
- 個別支援の強化（授業内）
 - ・授業での時間確保
 - ・個別支援の工夫（学習シート、ヒントカード等）

(2) 読書、自主学習及び家庭学習の充実

- 読書の定着
 - ・朝読書の時間確保、読書量の増加
 - ・読書環境の整備（推薦本の紹介、図書館整備）
- 自主学習の取組
 - ・定期的な取組により習慣化
 - ・内容の工夫（発表、内容紹介、表彰）
- 家庭学習の取組
 - ・各種のドリル・復習プリントの取組
 - ・家庭との連携（期間の設定、保護者との協働）

(3) 本校の課題である学習の取組

- 理科の観察・実験について
 - ・授業改善及び振り返りの徹底により習得
- 継続した取組について
 - ・辞書引き及び読書等への取組の強化
- 書く指導の系統的な取組
 - ・校内研究を通して、自分の考えを表現できる児童の育成

3 「令和2年度 墨田区学習状況調査」における目標

- ・D・E層の50%減少
- ・全教科の全国平均正答率より高い結果
- ・学年の経年変化の学力向上